

三重県内におけるイネいもち病菌の抵抗性遺伝子 *Pib* 打破レースの発生

利用対象：指導者、育種研究者

イネいもち病菌には、病原型（レース）があります。また、レースによって抵抗性を示すいもち病真性抵抗性遺伝子が存在し、いもち病の防除方法の一つとして、真性抵抗性遺伝子を持つ品種の導入が行われています。しかし、これまでにいもち病が問題とならなかった品種でも近年発病する事例が散見されています。

そこで、県内で発生するいもち病菌のレース構成を調べたところ、前回の調査（2006～2007年）で発生していなかったレース（**真性抵抗性遺伝子 *Pib* を打破するレース**）が見つかりました。また、**真性抵抗性遺伝子 *Pita-2* を打破するレース**も一定数確認されています。

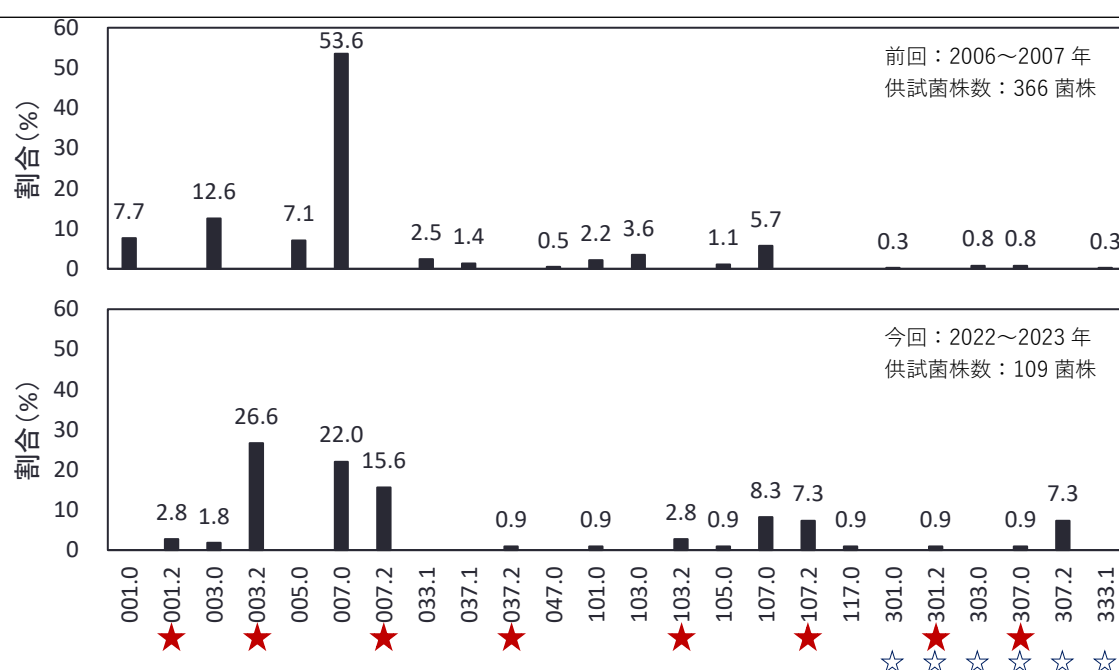


図 県内で発生したイネいもち病病斑から分離した菌株のレース構成

★：真性抵抗性遺伝子 *Pib* を持つ品種（やまだわらなど）を発病させるレース

☆：真性抵抗性遺伝子 *Pita-2* を持つ品種（みえのゆめBSL、みのりの郷など）を発病させるレース

※2006～2007年：26市町164圃場、15品種と品種不明の水稲より分離した菌株を供試（三重農研実施）。

2022～2023年：13市町73圃場、19品種と品種不明の水稲より分離した菌株を供試。

2022～2023年の検定においては、真性抵抗性遺伝子 *Pik-p*（レース0.1）および *Pit*（レース0.4）に対する罹病性は調査していない。

<今後のいもち病の防除対策>

- ・真性抵抗性の有無に関わらず**基幹防除（種子消毒、箱剤の使用、本田防除等）**を行いましょう。
- ・レースに対する真性抵抗性の有無に関わらず病勢の進展が抑制できる**圃場抵抗性を持つ品種の育成、導入を推奨**します。

お問い合わせ先

基盤技術研究室 農産物安全安心研究課 電話 0598-42-6360

参考になる資料

<http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm>

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000399752.pdf>